

主催・・・高知市教育会

後援・・・高知新聞社

土陽新聞社

こういう立派な会を開いていただいたのに、私は洋服をもたないので和服に袴をはいて行つたのです。来る時は大阪から船で二等に乗つて来るようにと中村先生からいわれていたので、そのとおり二等に乗つていつたのです。船は三等までであつたのですが、こういう立派な会の講師となる者が、最低の三等に乗つていたのでは品が落ちると思われて、そのようにいわれたものと思うのです。

七月一日、和服でいよいよ大阪から船に乗つたのです。順調に行けば翌二日、講演に間に合うように着くのです。

ところが船が出ると嵐になり、和歌山県のある海岸に避難することになつたのです。これでは講演会に間に合わないのです。大阪に出て四国の高松に渡るつもりで船の人に事情を話したら私だけを陸地にかけてくれることになつたのです。棧橋も何もない田舎の塩津とかいうところで小舟に乗せてもらつたのですが、嵐の中、舟がひっくり返ろうとしたことがしばしばあり、全く命からがらやつとのことで陸地にあげてもらつたのです。持っていた荷物は舟の中で同じ室におられた人に事情を話して預かってもらい、講演会